バ保連ニュース（日本バプテスト保育連盟　発行）
～バプテストのバトンをつないで～　2026年　3月　VOL.１７

「キリスト教保育で育てられて」

若者を歩むべき道の初めに教育せよ。年老いても
そこからそれることがないであろう。（箴言22章6節）

2025年4月に日本バプテスト浦和キリスト教会に転任し、その後、社会福祉法人浦和ぶどうの樹・浦和バプテスト保育園の理事長をお引き受けいたしました。毎日、子どもたちの声の中で働きながら、一人の牧師として「キリスト教保育の意味」を改めて問い直しています。この恵みの場に立たされていることを感謝しています。同時に、責任の重さを覚えつつ歩んでいます。

私は幼い頃、西南女学院短期大学部付属シオン山幼稚園で育ち、年長組に「主の祈り」を先生たちから教えていただきました。人生には、誰であっても祈る言葉さえ見失ってしまう時があります。しかし、そんな暗闇の中で、幼い頃に刻まれた祈りが唇をついて出で、幾度も私を助け、支え続けてくれました。幼子の内側に蒔かれた祈りの種は消えない。それを私は証しできます。

キリスト教保育とは、子どもたちを単にクリスチャンに「仕立てる」ためのものではありません。もちろん、キリ

ストを信じる思いが与えられれば感謝なことです。しかし、御言葉を伝え、祈りを共にするのは、彼らが将来、困難や壁にぶつかった時、それを乗り越える確かな力が聖書にあると信じているからです。

そのために不可欠なのは、園児一人ひとりに焦点を合わせる「個（パーソナル）」のまなざしです。複雑な家庭環境の中で不安を抱えていた５歳の私の話を、当時園長であった故高橋さやか先生が真剣に聞いてくださったことを、私は今も忘れられません。

保育を画一的になすのではなく、その日の子どもたちの小さな変化と心の揺らぎに、「手間」をかけて向き合うこと。現代のように効率やスピードが重視される時代にあっても、人が育つのに手間がかからないはずがありません。その手間こそ、子どもたちが未来へと握りしめていく「愛のバトン」です。

浦和バプテスト保育園の先生方、そして全国の各園で献げられる尊い手間が、教会と園の祈りの連携の中で守られ、幼い命が喜びのうちに育まれることを願います。

社会福祉法人　浦和ぶどう樹　理事長　本山　大輔

日本バプテスト保育連盟の歴史

日本バプテスト保育連盟(通称:バ保連)は、日本バプテスト連盟発足直後第４回連盟年次総会(1950 年)で結成が決議されました。

当初、幼稚園・保育園の開設や設備(ピアノ等)充実の補助等をフォーリンミッションボード(American Board of Commissioners for Foreign Mission から受ける為の仲介的な働きを行っていました。

その後、幼児教育充実発展に伴い学校法人化の課題等に関わり今日に至っています。

２０２５年度役員

・会　長：田中秀一　シオン山教会
(北九州市　愛の園保育園　園長)

・副会長：久保田信人　和歌山バプテスト教会
(和歌山市　和歌山ひかり幼稚園　副園長)

・役　員：中島美香　目白ケ丘教会
(新宿区　目白ヶ丘幼稚園　園長)

・役　員：丸田恵美　久留米キリスト教会
(久留米市　付設めぐみのその幼児園　園長)

・役　員：美園実保　伊集院教会
(日置市　伊集院幼稚園　園長)

ご支援を頂ければ幸いです

日本バプテスト保育連盟は、イエス様が大切にされた最も小さきこどものために働かれる保育者の研修や情報交換、情報提供のため、各園からの会費よって運営されています。
我々の理念にご賛同いただき、運営に対する献金をお献げ頂ければ幸いです。

☆振込先・ゆうちょ銀行
記号：１７４７０
番号：８３５５５８５１
・他行から
店名：七四八(店番７４８)
普通：８３５５５８５
・名前：日本バプテスト保育連盟
(ニホンバプテストホイクレンメイ)

・祈りの課題

①日本バプテスト保育連盟の働きのために

②教会の方々が保育現場へ導かれるために

③教職員の主日礼拝参加と喜びのために

皆さまの祈りに加えて頂ければ幸いです。

お知らせ

・2026年３月２７日(金)１４時～２０２５年度第１回日本バプテスト保育連盟設置者園長協議会をＷｅｂ会議にて開催いたします。

この会議では、設置者である理事や監事・園長・施設長・関係教会の教役者の方々にご参加頂き、各施設が抱える課題の共有と情報交換、これからの日本バプテスト保育連盟の在り方を考え、また２月１２日に予定されている日本バプテスト連盟常務理事と宣教室長との意見交換会報告と意見を共有いたします。ぜひご参加ください。右記のＱＲコードからお申し込みください。

・2026 年７月３０日(木）～8 月１日（土）和歌山ひかり幼稚園において、幼稚園と児童発達支援事業所の働きについて、教職員研修会を予定しています。次年度のご予定に加えて頂ければ幸いです。また覚えてお祈り下さい。なお、総会は別の時期に開催いたします。

園紹介　　　学校法人西南幼稚園

～幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた～

（ルカによる福音書２章40節）

西南幼稚園は、1953年５月に西南学院バプテスト教会の教会学校嬰児科を母体として誕生しました。終戦後間もなく帰ってこられた宣教師の助力を得て再開された教会学校は、物資も乏しくレジャーもなかった時代、子どもやお母さんたちの居場所となっていました。「子どもたちを終日預かってほしい」という要望が強くなってきた頃、近隣のキリスト教主義幼稚園に電車通園していた子どもが事故死したことを受け、「電車道から北側に幼稚園を」との祈りが始まりました。子どもたちへの宗教教育の重要性を考えた婦人会（当時）は1953年１月、教会総会に幼稚園設立案を提出、可決。資金なく特別な園舎もなく、ただ信仰のみの出発から西南幼稚園は始まったのです。

旧礼拝堂と西南学院の西南会館を園舎として始動した幼稚園は、1958年に園舎を建築。1982年に学校法人移行。1996年より三年保育を開始。2005年、福岡西方沖地震を受けて新園舎建築を計画。2010年に完成しました。2023年６月25日、幼稚園は創立70周年記念礼拝を執り行うことが出来ました。その時までの卒園児総数3,222名。これはひとえに神さまの恵みと守り、多くの人々の祈りに支えられてきた結果です。西南学院に隣接した文教地区に位置した西南幼稚園は、西南学院大学人間科学部児童教育学科との連携の元、「子どもたちをわたしのところに来させなさい。」（マルコ10:14）というイエス・キリストの招きに応え、子どもたちの「自由な遊び」を保育中心に据え、これからも福音宣教の種まきを続けていきます。

（西南幼稚園園長　西脇慎一）

幼稚園チャペル（３学年合同）

西南幼稚園　園舎と園庭

能古島遠足（年長）